

北海道横断自動車道根室線『尾幌糸魚沢道路』

令和2年度予算8億5,500万円配分～早期着工へ前進！

●問い合わせ／政策調整係

令和2年度国土交通省予算において、北海道横断自動車道根室線の一部を構成する一般国道の自動車専用道路として整備する、厚岸町尾幌・糸魚沢間24・7kmの全区間の測量設計などを実施する8億5500万円が配分となりました。

現在、事業を行う釧路開発建設部では、尾幌・糸魚沢間の国道周辺において、動植物の生息状況を把握する環境調査を令和3年3月下旬までの予定で実施しています。

今後は、概略ルート幅約250m内で現地測量及びボーリング地質調査を所有者の承諾を受けて順次実施します。

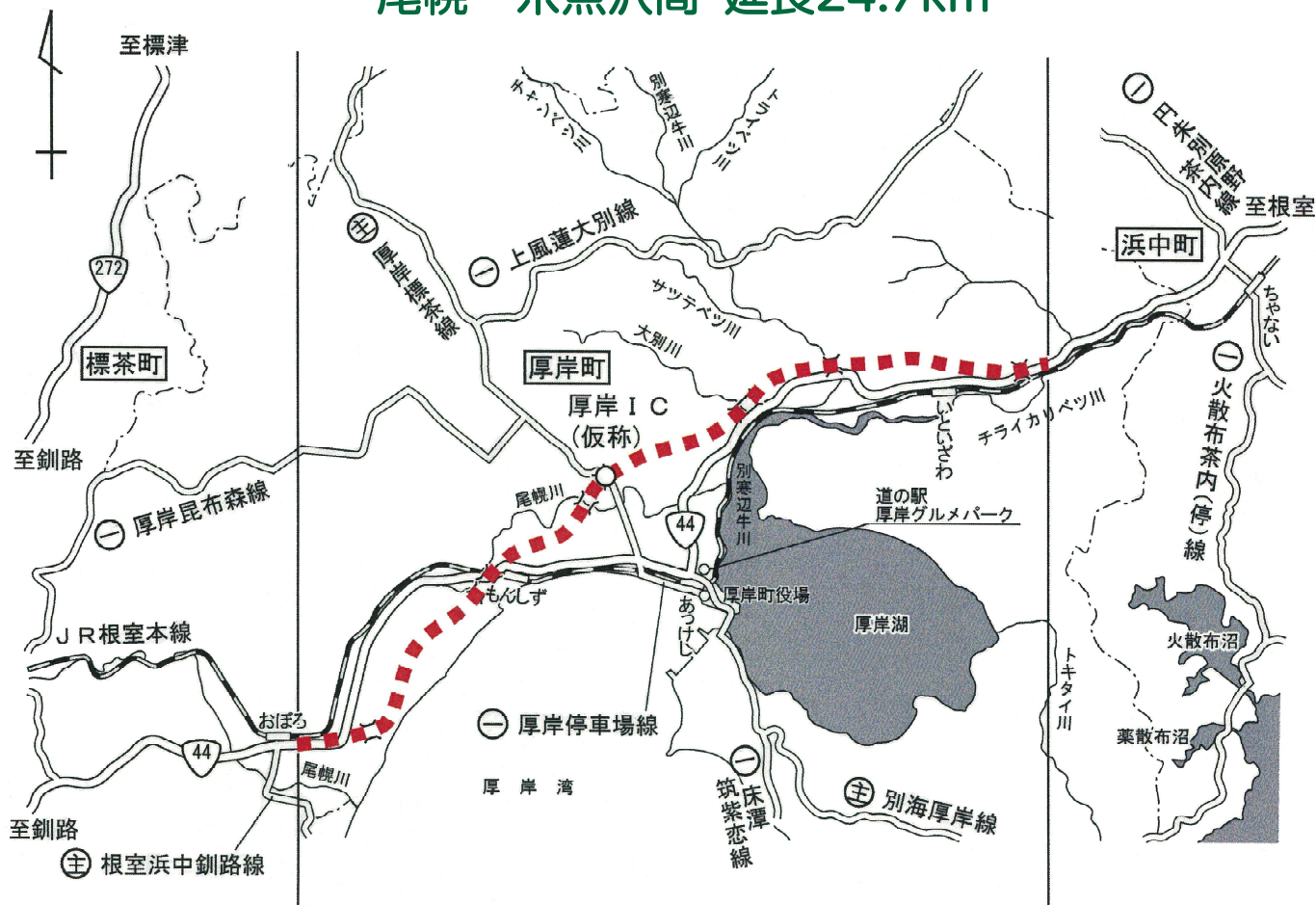
令和元年度予算は1億円で、厚岸IC（仮称）予定地と門静間約4・5kmの測量設計が執行されました。本年度で尾幌・糸魚沢間の全区間の測量設計が完了し、概略ルート幅内に中心線を定め、整備幅は一般的な盛土部で概ね50mから60m程度になる見込みです。

厚岸IC（仮称）は、光栄地区と太田市街地を結ぶ『道道厚岸標茶線』に接続する位置を予定しています。

この尾幌糸魚沢道路は、津波浸水被害などの災害時の救急活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築、農水産品の輸送能力向上による物流効率化や観光周遊性の向上支援などを目的に整備されます。

令和2年度における全区間（24・7km）の測量設計により道路用地幅が決定されます。来年度以降は、用地取得後に整備工事が順次進められることとなり、尾幌糸魚沢道路の早期着工を求める地元要望に応えるよう事業が進捗しています。

尾幌・糸魚沢間 延長24.7km



※ルートは概ねの位置を示したものであり、今後の現地調査により変更する場合があります。